

## 心理臨床相談室の活動

### 1. 心理臨床相談室スタッフ

昭和女子大学大学院生活機構研究科生活文化研究専攻心理学講座臨床心理士養成コースは、臨床心理士養成指定大学院第一種として認定されている。心理臨床相談室は、臨床心理士を目指す学生の、心理臨床実習機関としての位置づけを設置の第一の目的としながら、昭和女子大学が地域のために開設している一般外来相談機関としての性格も持っている。教員6名、及び、研究助手1名、専任カウンセラー1名が心理臨床担当スタッフとして相談業務と、学生の指導を行っている。心理士養成コース（平成17年度からは、心理学専攻臨床心理学講座）に所属する学生は、修士課程1年の後半から、受理面接の陪席と記録、心理テストの実施、臨床心理面接を、心理臨床担当スタッフの指導のもとに行っている。心理臨床相談室には、相談事務担当の契約職員が常駐し、電話での申し込み受付、各種問い合わせに対する対応、連絡、面接室及びプレイルームの管理、相談料の会計処理等を行っている。平成16年度のメンバーは下記の表の通りである。

教授(所長)臨床心理士	平尾美生子	助教授 臨床心理士	山崎洋史
教授 臨床心理士	渡邊佳明	研究助手 臨床心理士	田口香代子
教授 臨床心理士	鶴養啓子	専任カウンセラー（臨床心理士）	佐藤昌子
助教授 臨床心理士	島谷まき子	相談事務担当	長内綾
助教授 臨床心理士	田中奈緒子		

### 2. 心理臨床相談室施設概要

心理臨床相談室の施設は下記の通りである。

大学1号館	5階	面接室	2	6階	面接室	1
		プレイルーム	1		プレイルーム	1
		待合室	1		待合室	1
		観察室	1		観察室	1
		事務室	1			

### 3. 平成16年度の相談概要（平成16年度心理臨床相談室統計参照）

#### a. 一般外来相談

一般外来相談の概要は、表1～4のとおりである。本年度は、集計方法を変更し、活動内容がより分かりやすくなるよう表記を工夫した。そのため、過去の状況との比較資料は載せていない。表1 電話受付のうち「新規申し込み」は、継続相談につながった申し込み電話の数である。「関係機関からの紹介」は、医療機関や精神保健福祉センターなどから、本相談室にケースを紹介されたものである。ただし、紹介があっても、本人からの申し込みがない限り、実際には相談業務は始まらない。「他機関紹介等」は、問い合わせや申し込みがあったが、本相談室で受理不相当と判断し、受理面接を行わず、他の医療機関や相談機関に紹介したものや、1回の電話で、問題が解決され、来室相談に至らなかったものなどを含んでいる。いずれの場合も電話で簡単な情報収集を行い、本相談室でできることを簡単に伝えている。

本年度の来室相談件数は、表2、表3に示したとおりである。来談者の年齢は小学校低学年から成人まで幅広い。なお、子どもが来室している場合には、原則として保護者の面接も並行して行っている。本相談室は、下記の理由で、ある程度ケース受理制限をしていることをお断りしておきたい。

- ① 女子大という状況を考え、成人男性の本人面接のケースは、原則として受理せず、他機関に紹介している。

- ② 卒業生からのスーパーヴィジョン及び、他機関の心理職のスーパーヴィジョン、他の専門職のコンサルテーションは、現在、在学生のスーパーヴィジョンを優先するために受け入れていない。
- ③ 世田谷区内に、教育相談室4カ所、児童相談所、警視庁少年センター、子ども家庭支援センター、他大学の臨床相談センターなどが多々あり、区内小中学校には全校配置で、スクールカウンセラーがいる。また、小児・思春期を専門とする病院やクリニックも多数開設されている。さらに、近隣の区市の相談室や民間相談機関も隣接している。料金等のこともあり、そちらへの紹介も行っている。

これらのことにより、昨年度と比較して相談件数は増加していない。しかし、平成17年度は、心理学専攻臨床心理学講座となり、学生数も増加する。学生が担当するのに適した来談者を増やすための努力も必要である。近隣の小児科、内科等の医療機関との連携を行い、オープンカレッジとの協力を続け、さらに、ホームページ開設も検討している。

本年度の全ケースについての相談回数は、表4の通りである。継続ケースについては、来室によるカウンセリングや心理療法のほかに、要望や必要性による心理検査、クライアントが来談できない時の電話カウンセリング、約束の日時以外の緊急事態に対応するための電話カウンセリング、学校、他機関との直接あるいは書面による連携など、さまざまなかわりをしている。

また、今年度特筆すべきことは、附属初等部との連携である。以前から、附属初等部中高部からの紹介ケースは若干あったが、今年度は、初等部からの紹介ケースについて、担任と密に連絡を取り、学校の中での対応と、相談室での心理療法の連携を図ることができた。今後こういった方向を、相談活動の充実のために活かしていけたら幸いである。

表3相談の内容に示したとおり、平成16年度は継続・新規を含め軽度発達障害をもつ子どもとその保護者の来談が多く、年齢別では小学生が多い。学齢期で普通学級にいる軽度発達障害の子どもたちの、学級不適応等に対する援助は社会的要請でもある。成人のケースは、本人の生き方や性格、子育てについての混乱などがあるが、背景に、うつ症状や精神疾患のある場合もあり、慎重な関わりと、医療機関との連携が不可欠のケースも多い。

表1 電話受付件数

(件)

内 容	件 数
本人及び家族からのインテーク予約	28
関係機関からのケース紹介	10
電話相談のみで終了（他機関紹介等）	69
計	107

表2 受付件数（継続相談）

(件)

受付	相談の対象	件数	
今年度 新規受付	成人	11	24
	子ども（18歳以下）	13	
前年度からの継続	成人	7	13
	子ども（18歳以下）	6	
計		37	

表3 相談の内容（継続相談）

(件)

相 談 の 内 容	幼 児	小学生	中学生	高校生	成 人	計
発達障害 （LD・ADHD・自閉症等）		11	1	1	3	16
不登校・ひきこもり				1	1	2
問題行動（リストカット・摂食障害等）		1		1	1	3
職場のストレス					2	2
家庭内のストレス（介護を含む）					3	3
うつ症状・心身症 等					7	7
子育て不安	2		1			3
コンサルテーション					1	1
計	2	12	2	3	※18	37

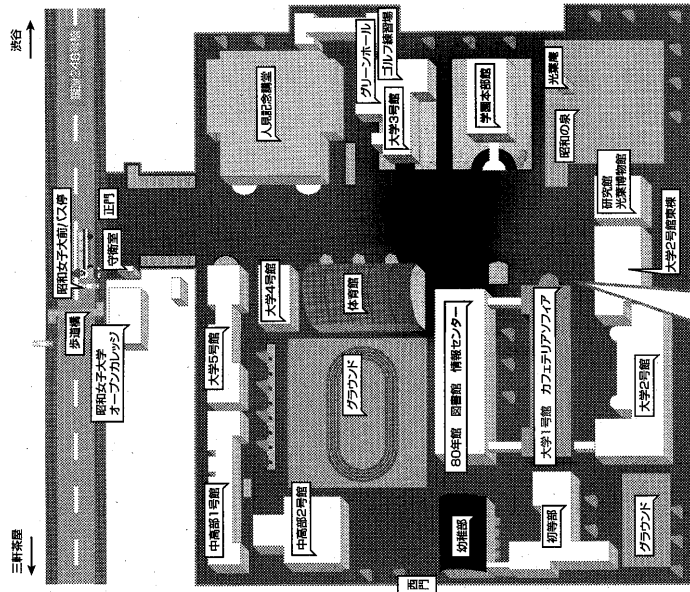
※成人本人からの相談は18件中14件

表4 相談回数（継続相談）

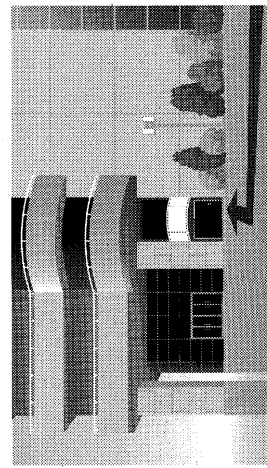
(回)

内 訳	回 数	
カウンセリング・ 心理療法	成人	180 (内 親子並行面接 83)
	子ども（18歳以下）	86
心理検査	5	
電話でのカウンセリング	156	
コンサルテーション	11	
医療機関との連携	6	
紹介状・報告書の作成	9	
本人への手紙	7	
情報提供	2	
きょうだい児への対応	16	
訪問による行動観察	1	
計	479	

●キャンパス案内図

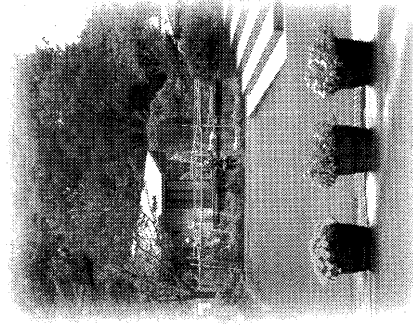
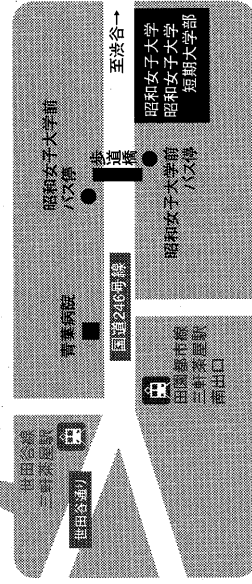
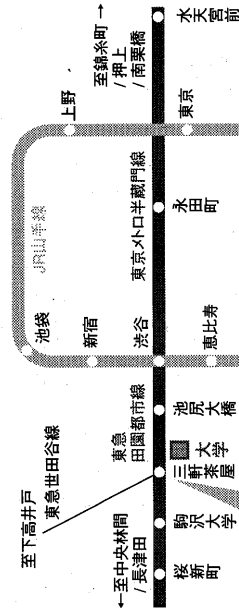


大学1号館



右側の小さい入口から入り、入ってすぐのエレベーターで5F心理臨床相談室までお越しください。

●交通案内図



●まずはお気軽にお電話ください

TEL 03-3411-5144

# 女性のための カウンセリング ご案内



自分らしく生きたいあなたへ...

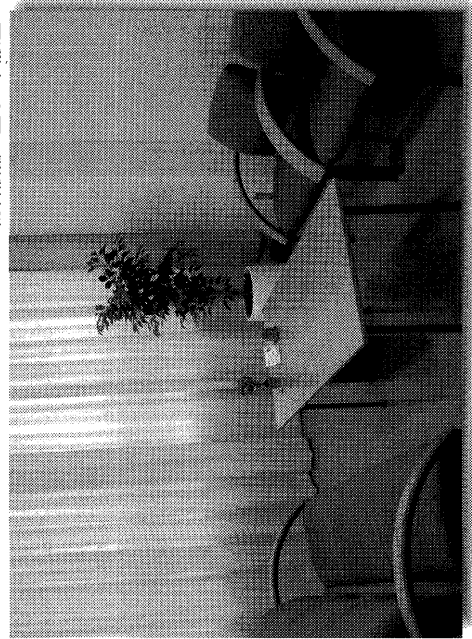
緑豊かな大学キャンパス内の相談室  
昭和女子大学 生活心理研究所 心理臨床相談室  
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7  
(東急田園都市線 三軒茶屋駅 徒歩7分)

## 昭和女子大学 生活心理研究所とは…

生活心理研究所は、大学院生活機構研究科の附属機関として1995年4月に設立されました。心理臨床相談室では、悩みや問題を抱えている方に教員を含む専門スタッフがカウンセリングや心理治療などを行っています。



音楽に癒される  
待合室



防音設備の整った面接室

## こ ん な 時

心が疲れた…  
人間関係 ストレス  
元気が出ない  
やる気が出ない

悩みがある…

生き方 仕事 恋愛  
将来 結婚 健康

家族 子育て

自分自身を  
見つめなおしたい…  
自信がない 性格上の悩み

心理テスト  
職業適性検査

託児無料

大学院生がお世話  
させていただけます。

## ■担当カウンセラー

- ・初回は、女性の臨床心理士がお話をうかがいます。
- ・当相談室は、大学院生の臨床教育機関でもあります。継続のカウンセリングの場合には、臨床心理学を専攻する大学院生が担当させていただきますが、責任を持って指導いたしますのでご了承ください。



「一日に7人に出会うと幸せが訪れる」と言われています

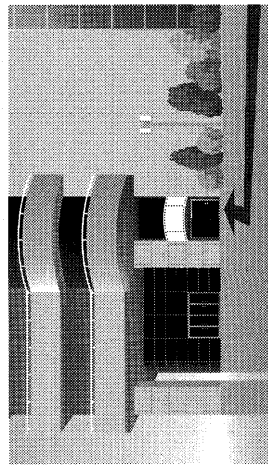
●まずはお気軽にお電話ください

**TEL 03-3411-5144**

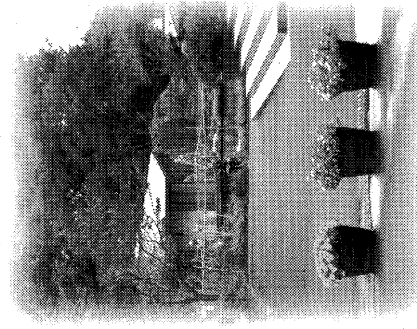
ご相談の内容によりましては、より適切な相談機関や医療機関をご紹介しますこともあります。

**秘密は厳守いたします。**



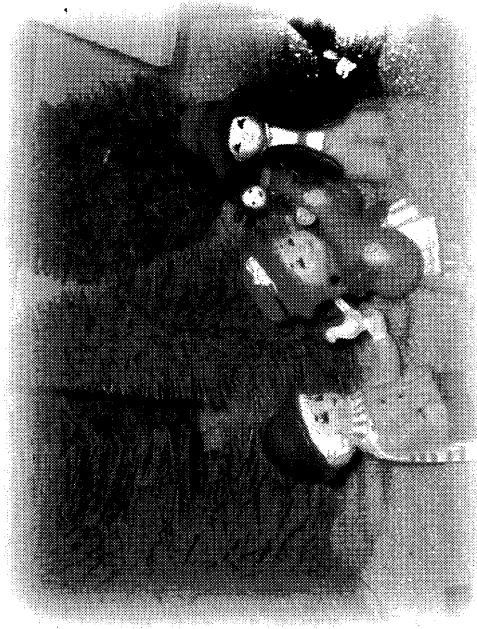
[illegible]

大学1号館

[illegible]

**TEL 03-3411-5144**

内家



緑豊かな大学キャンパス内の相談室  
昭和女子大学 生活心理研究所 心理臨床相談室  
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7  
(東急田園都市線 三軒茶屋駅 徒歩7分)

昭和女子大学 生活心理研究所とは…

生活心理研究所は、大学院生活機構研究科の附属機関として1995年4月に設立されました。心理臨床相談室では、悩みや問題を抱えている方に教員を含む専門スタッフがカウンセリングや心理治療などを行っています。



### 託児無料

大学院生がお世話させていただきます。

## こ ん な 時

### うちの子

ちよっと育てにくいかも…  
ことが遅い わがまま  
落ち着かない  
夜尿・爪かみ・チック  
などのクセ

### 最近子どもが変わった…

子どもが何を考えて  
いるかわからない  
元気がない  
急に成績が下がった

### 学校生活が

うまくいかない…  
学校に行きたがらない  
勉強ができない いじめ  
友だちと遊べない

### LD・ADHD・

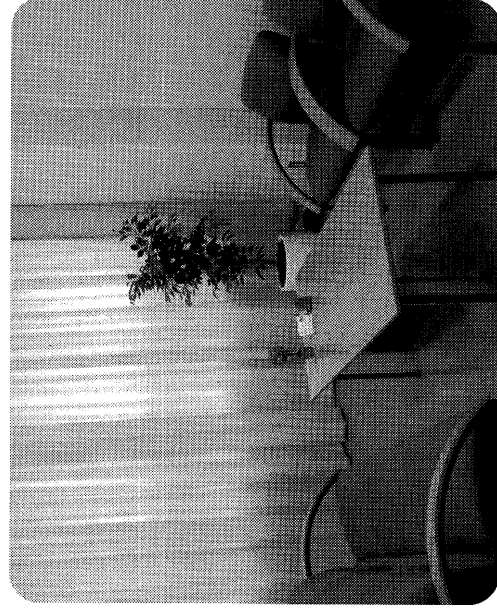
自閉症ではないか…

### 発達検査

医療機関へのかかりかた

### 子どもが

かわいく思えない



### ■担当カウンセラー

- ・初回は、女性の臨床心理士がお話をうかがいます。
- ・当相談室は、大学院生の臨床教育機関でもあります。継続のカウンセリングの場合には、臨床心理学を専攻する大学院生が担当させていただきますが、責任を持って指導いたしますのでご了承ください。



「一日に7人に出会って幸せが訪れる」と言われています

●まずはお気軽にお電話ください

**TEL 03-3411-5144**

ご相談の内容によりましては、より適切な相談機関や医療機関をご紹介しますこともあります。

**秘密は厳守いたします。**